

Suica事業の取組み

東日本旅客鉄道株式会社
マーケティング本部 戦略・プラットフォーム部門 システムユニット
濱 貴之

Suicaの利用状況

Suica



カード発行数

10,007 万枚

(2023年10月末)



モバイルSuica発行数

2,353 万枚

(2023年10月末)



相互利用

全国相互利用ICカード



交通での利用状況

JR東日本
887駅
IC利用率 約9割

全国で
5,000 駅
50,000 バス

1日のSuica利用件数
5,100 万件

(2023年5月)

電子マネーでの利用状況

利用店舗
177 万店舗

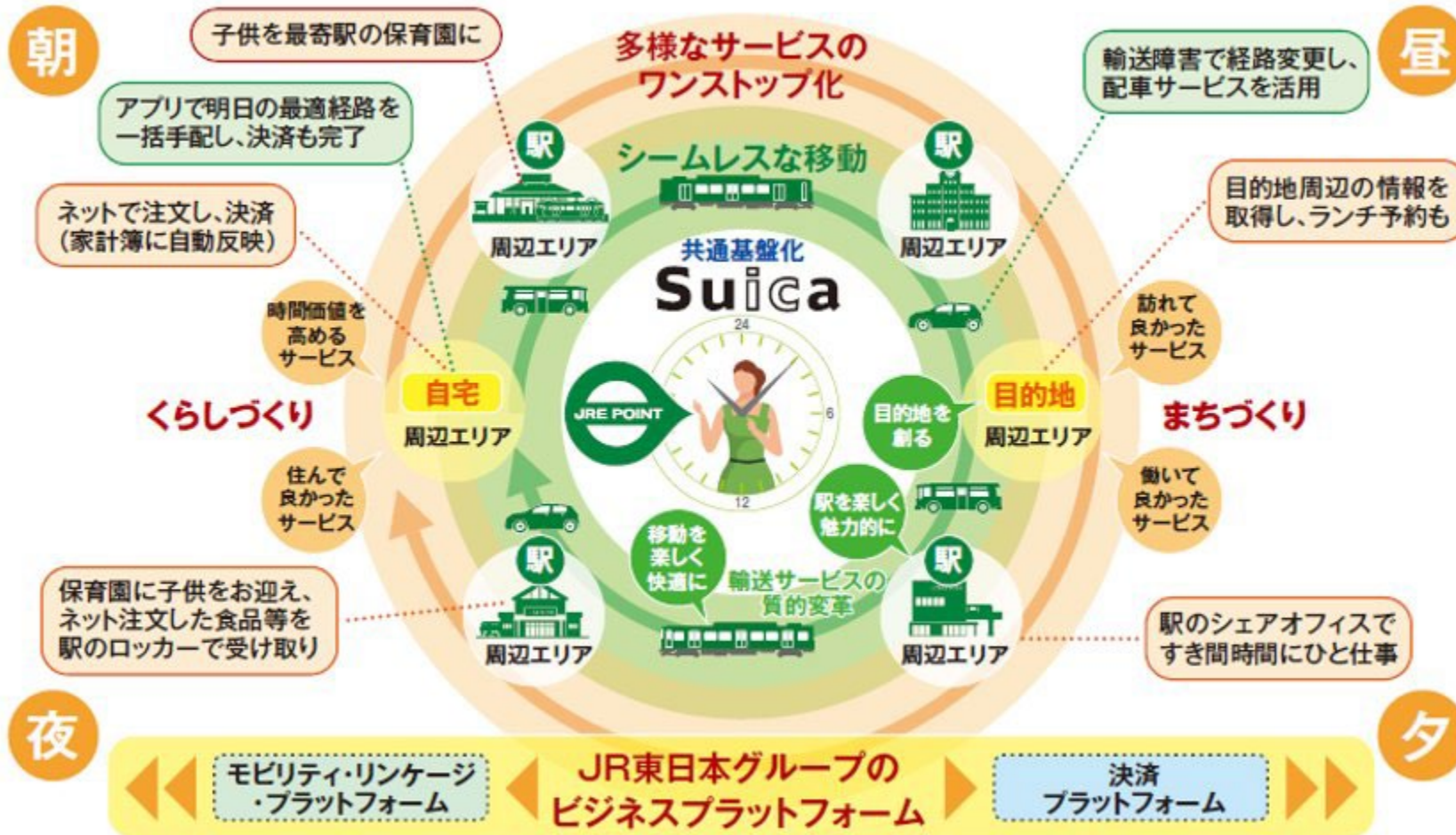
(2023年9月末)

1日の交通系ICカード利用件数
1,111 万件

(2023年7月28日)

JR東日本が目指すビジネスプラットフォーム（グループビジョン変革2027より）

移動のシームレス化と多様なサービスのワンストップ化により、お客さまが24時間、あらゆる生活シーンで最適な手段を組み合わせ、移動・購入・決済等のサービスを利用できる環境を目指す



Suica共通基盤化の取組み 交通領域におけるカバレッジの拡大

オフピーク定期券 2023年3月18日より

- 平日のオフピーク時間に利用可能(入場時に判定)
- 通常の通勤定期券よりも割安な価格を設定(約10%)
- 対象エリアは東京電車特定区間

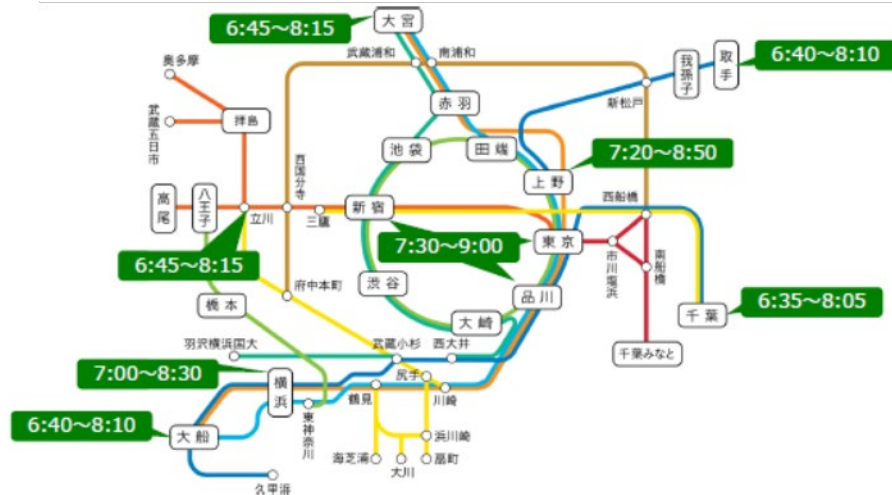
通常の通勤定期券



オフピーク定期券



主な駅のピーク時間



地域連携ICカード 2021年3月より

- ICカード未導入の地域交通事業者向けソリューション
- 地域交通乗車券機能とSuica基本機能を統合

地域公共交通のさまざまなサービスをカバー

<p>地域交通機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ICカード 独自割引 定期券 	<p>Suica機能</p> <ul style="list-style-type: none"> SF(チャージ) 定期券など
---	---

地域連携ICカードイメージ

Suicaとして、全国の鉄道、バス、加盟店でも利用可能

13カード、27事業者に導入

Suica共通基盤化の取組み 決済・認証手段としての機能向上

FinTech連携

- 身近なサービスとSuicaをオープンにコネクト



Mizuho Suica 2018年8月～
(iOS)

- みずほWalletアプリ内Suica発行
- チャージ



楽天ペイ 2020年5月～
(Android)

- 楽天ペイアプリ内Suica発行
 - チャージ
 - 夜間自動チャージ(2023年3月～)
- (iOS)
- チャージ(2023年6月～)



au PAY 2022年3月～
(Android)

- au PAYアプリ内Suica発行
- チャージ



ローソン銀行 Suitto 2022年3月～
(Android / iOS)

- モバイルSuicaへのチャージ

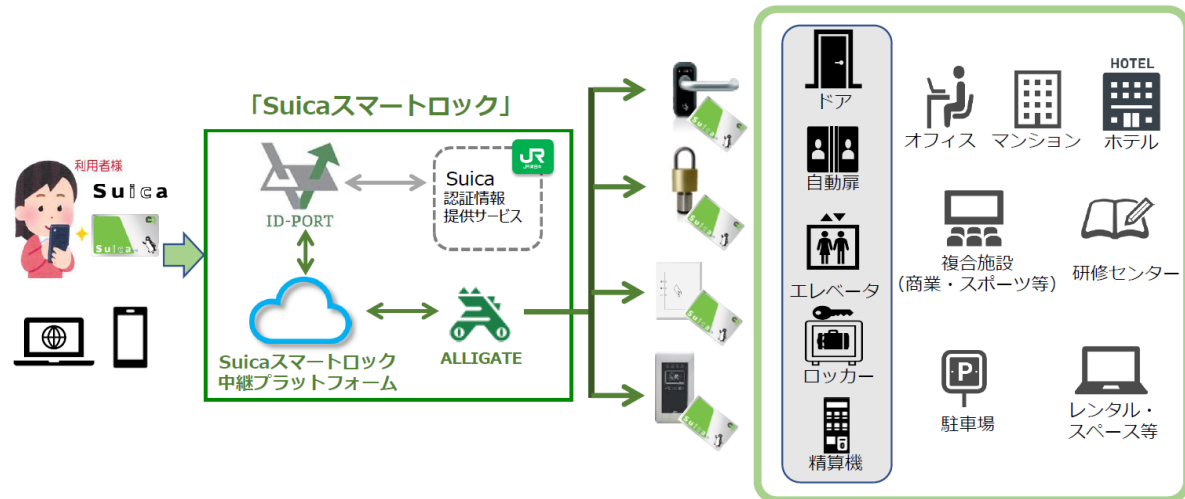


J-Coin Pay 2022年7月～
(Android / iOS)

- モバイルSuicaへのチャージ

認証機能活用

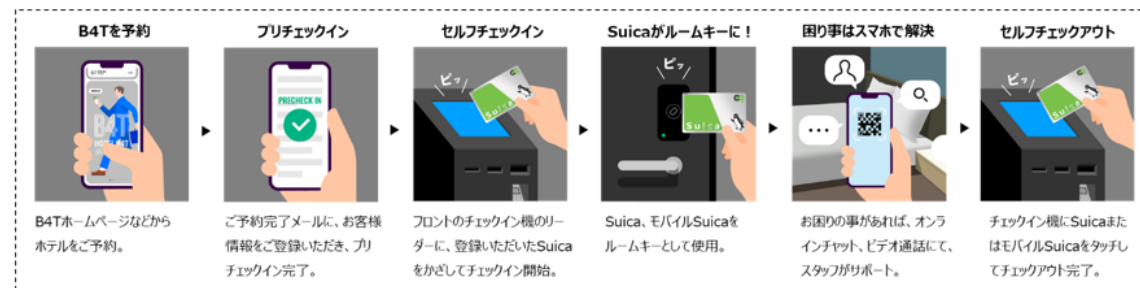
- Suica認証機能を様々なビジネスシーンで活用



© 2021 JR EAST MECHATRONICS CO.,LTD

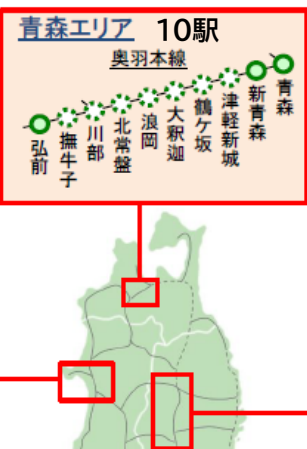


日本で初めてSuicaを客室キーとして使える
「ホテルB4T」をオープン(2023年1月～)

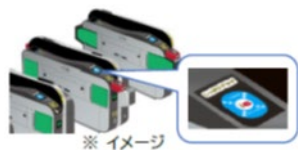


Suica共通基盤化の取組み 新しい方式を活用したエリア拡大

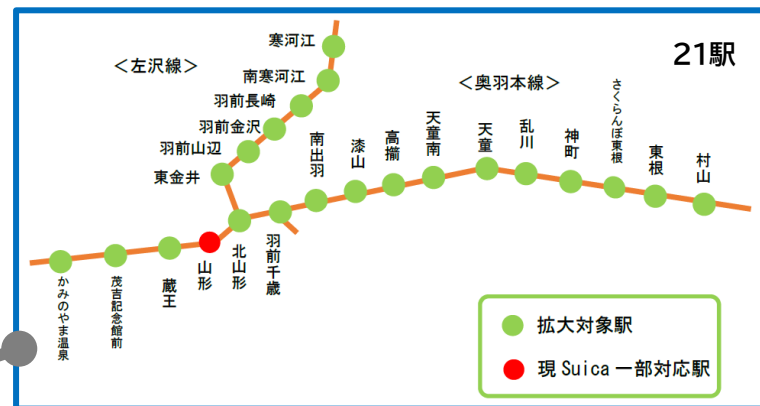
北東北3エリア 2023年5月27日より



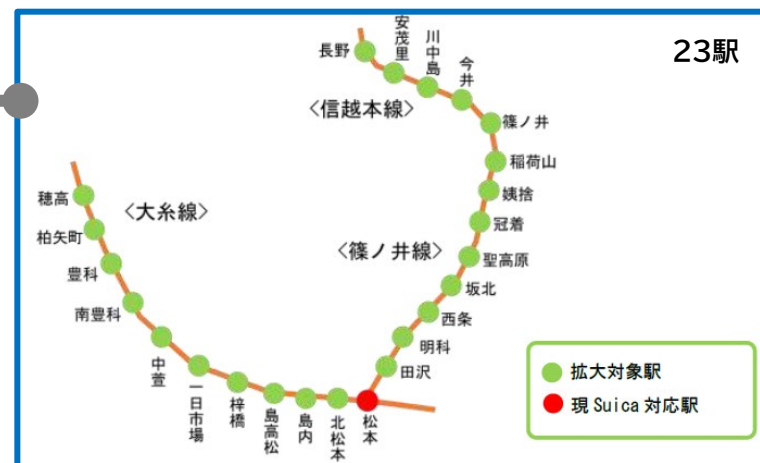
● IC対応自動改札機 ● 簡易Suica改札機



山形エリア 2024年春以降



長野エリア 2025年春以降



新しい方式を展開

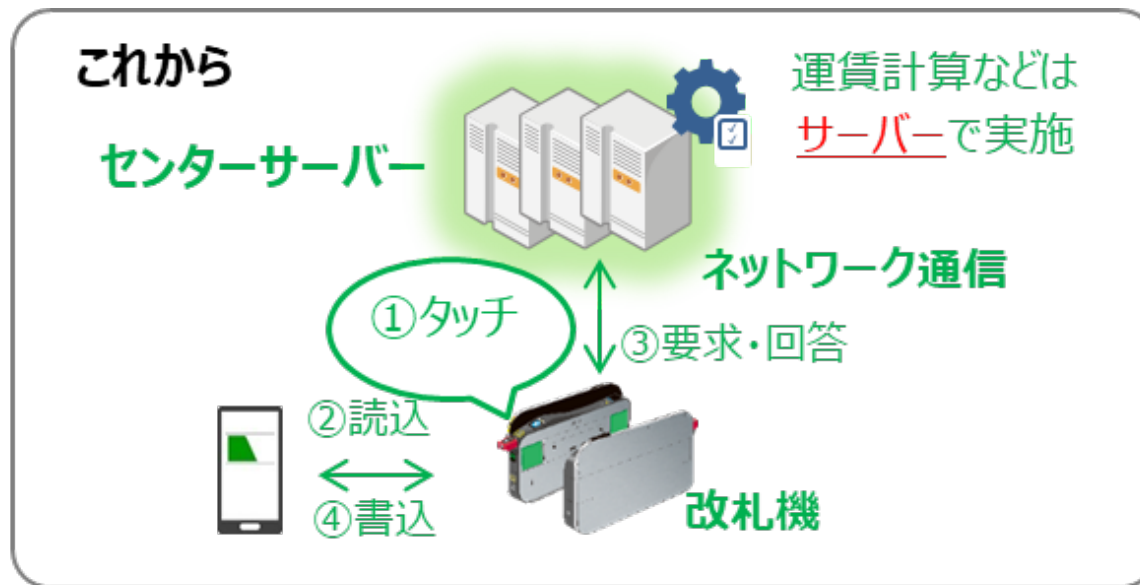


北東北3エリア45駅より導入開始。首都圏・仙台・新潟エリアは順次導入を開始

新しい取組み センターサーバー方式



⚙️ : 「運賃計算など」の処理を実行する機能



サービス機能の拡張性

処理スピードの向上

スピーディな改修



センターサーバー方式を活用し、多様化するニーズに対応した「**新しいSuicaサービス**」の提供を実現

新しいSuicaサービスのイメージ

Suica サービスの将来像

これまでの Suica サービス

・Suica が 1 枚あれば、お子さまからお年寄りまで、誰でもタッチするだけで手軽に利用できる

◆ Suica の仕組み



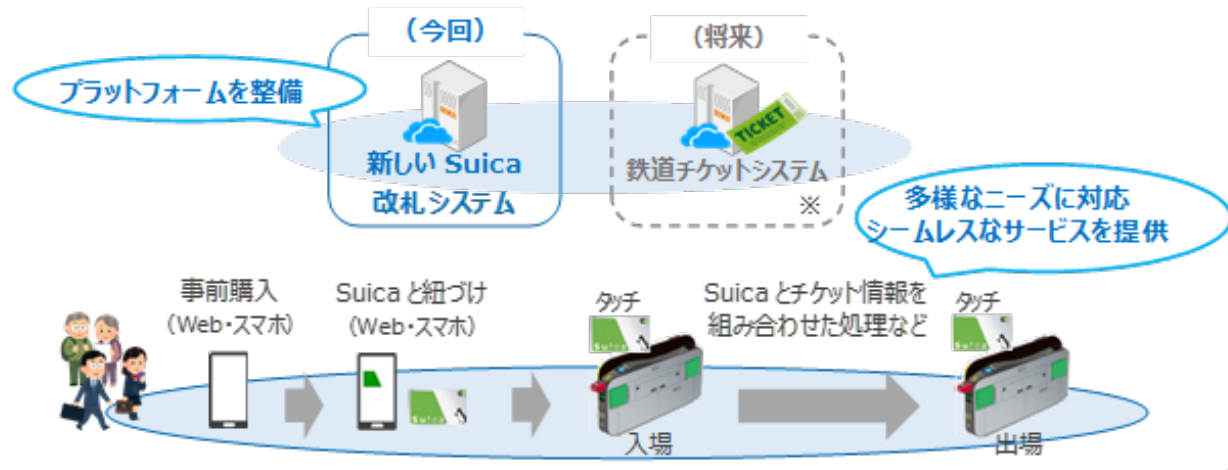
◆ 主な Suica サービス



これまでの Suica サービスに加えて「新しい Suica サービス」の提供を目指す

◆ サービス面の特徴

- ・Web やスマホとの親和性が高く、いつでも手軽に商品を購入できる
- ・購入した商品などは Suica をタッチして認証により手軽に利用できる
- ・会員向けサービスへの対応、業態をまたがる柔軟な商品設定などができる



※ サーバー上でチケット情報などを管理するシステム (Web やスマホとの親和性向上、記憶容量の課題が解消)

ベーシック

CBT Card Based Ticketing

- ・チケット情報をカード内に書き込む方式
- ・非会員でもカードを所有していれば利用可能



ベーシック

アドイショナル

CBT + ABT Account Based Ticketing

- ・チケット情報をアカウントID (サーバ) で所持
- ・会員 (アカウント) 登録により利用可能

現行の Suica 機能を活用しつつ、新しくフレキシブルな機能を追加し、より便利なサービスを提供

2023年4月4日当社プレス「新しいSuica改札システムの導入開始について」から抜粋

【参考】センターサーバー方式で既に実現している事例

新幹線 チケット 2020年3月～

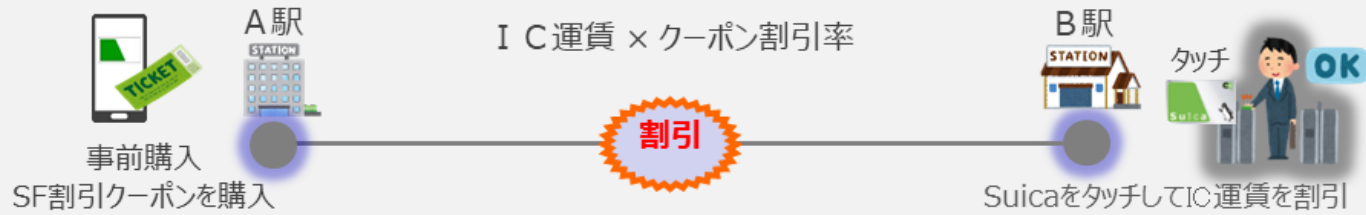
- えきねっとにてチケットを購入
- ご利用なる交通系ICカードを指定
- 交通系ICカードを新幹線自動改札機にタッチ



実現できるサービスのイメージ

基本機能となるCBTを活用しつつ、ABT機能を付加し、お客さまに新たなソリューションの提供が可能

例：時間帯や曜日などの利用条件によるSF割引クーポン etc.

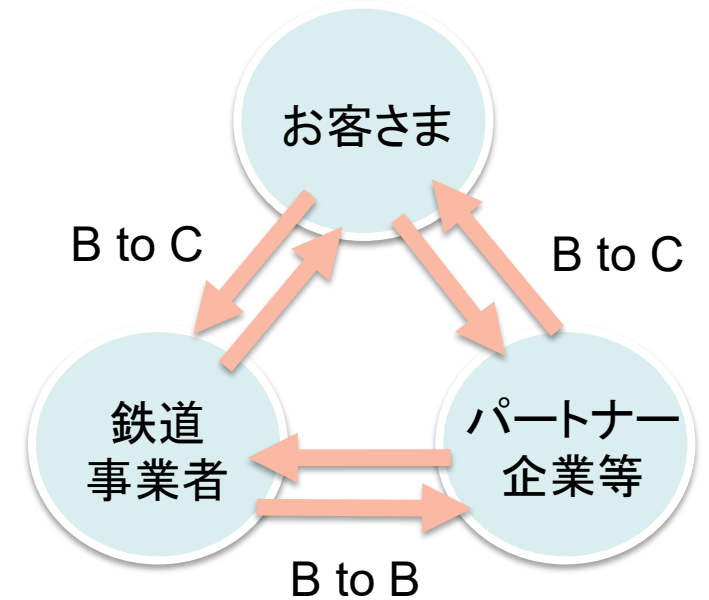
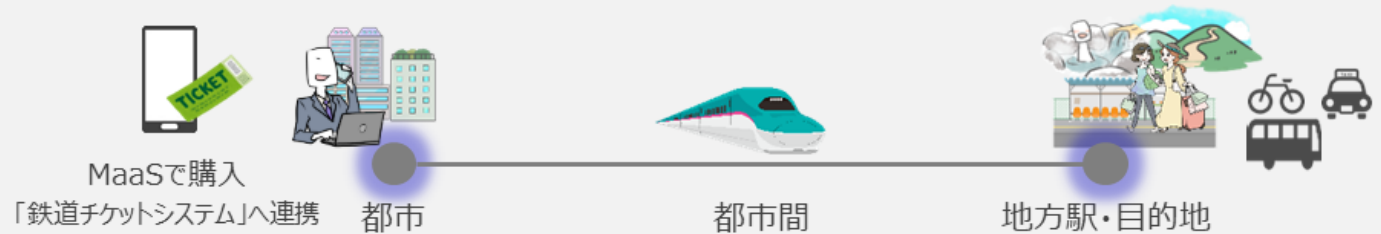


例：鉄道沿線（商業施設・イベントなど）と融合したクーポン etc.



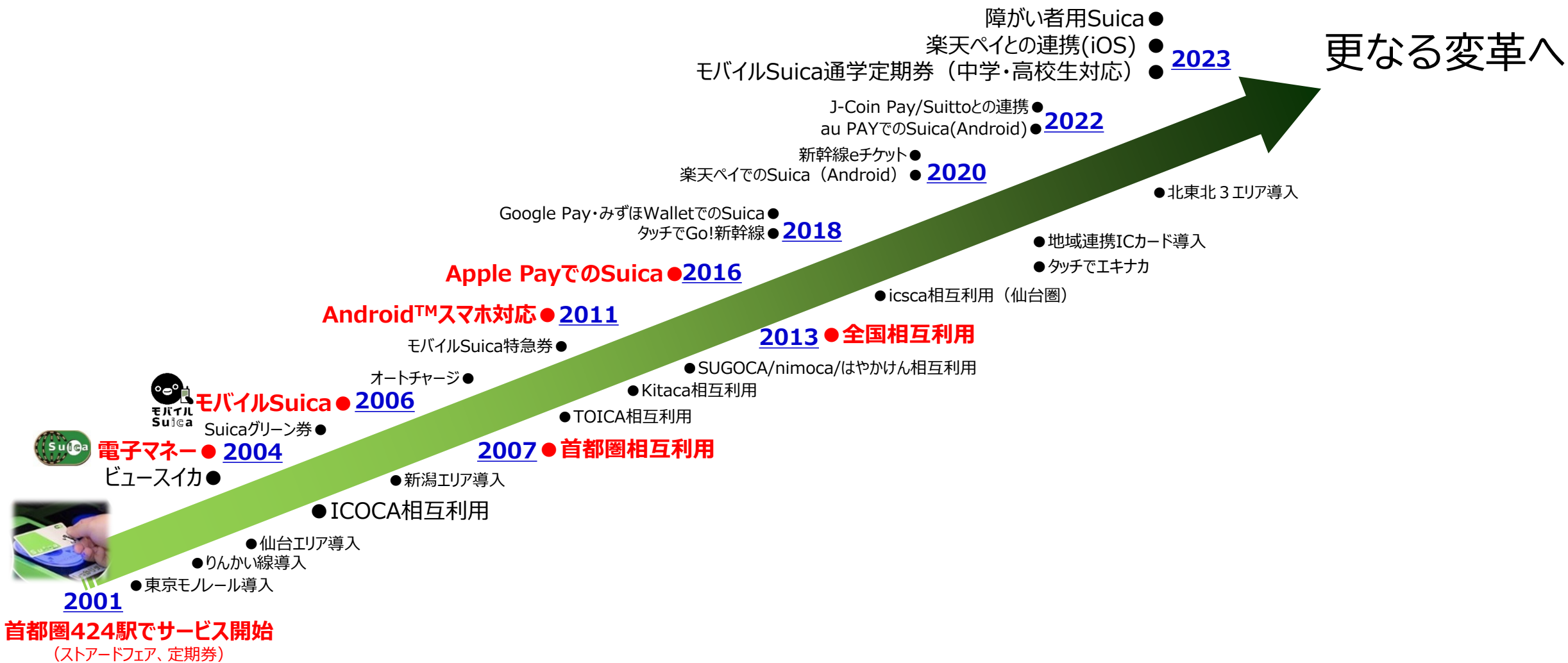
例：MaaSで目的地の交通や観光などのチケットをセットで購入 etc.

新幹線・特急による都市間移動や発・着地内の移動もSuicaをタッチしてご利用できる



フレキシブルなサービス

融合した商品の提供





S u i c a